

## 平成15年度 事業報告書

(平成15年4月1日から平成16年3月31日まで)

### 【実施方針】

- 1 生涯学習関連機関との連携，ネットワークを構築することを通して，市民ニーズを踏まえた事業展開を図る。
- 2 市民参画を進め，市民による市民のための学習活動を支援する。
- 3 財団が有する専門性・柔軟性を活かしながら，効率的・効果的な事業運営を行う。

### 【事業報告】

#### 1 **学習機会提供事業**

(寄附行為第4条第1号に掲げる事業)

- (目的) 施設機能を有効に活用することにより，市内の関係機関及びサークル・団体との連携を図りながら，市民の多様化した学習ニーズに対応した機会を提供する。
- (効果) 学習機会の質的・量的拡充が図られることにより，受講者層が拡大し，市民の生きがいづくり，社会参加が促進された。

## (1) さっぽろ市民カレッジ（文化・教養系）

年3期（平成15年5～8月、9～12月、平成16年1～3月）、市民を対象に、学習活動の入門編としての講座を開催した。

趣味・実用的内容の講座から、現代的課題（社会の急激な変化に対応し、人間性豊かな生活を営むために人々が学習する必要がある課題）の解決に関わる講座まで、幅広い分野で実施した。

なお、さっぽろ市民カレッジ（後掲受託事業分を含む。）では、取得単位数に基づき、「学士号」（50単位）、「修士号」（80単位）、「博士号」（120単位）を認定する評価システムを実施しており、今年度は新たに12名が学位を取得した。

【実績】72講座（定員2,178名）

受講者数1,833名／修了者数1,585名

学位取得者：「学士号」10名、「修士号」1名、「博士号」1名

学位取得者累計：「学士号」14名、「修士号」5名、「博士号」2名

## (2) 生涯学習センター施設機能活用事業

### ア 舞台操作技術講座

平成15年9～10月、市民を対象に、舞台操作技術の習得を目的とした舞台操作技術講習会を開催した（8日間）。

【実績】受講者数13名（定員30名）

### イ 映像スタジオ技術講習会

平成16年3月、バーチャルスタジオの特性を学ぶとともに、デジタル編集技術の習得を目的とした講習会を、市民を対象に開催した（2日間）。

【実績】受講者数10名（定員20名）

### ウ 音楽スタジオ録音研修講座

平成15年11～12月、市民を対象に、音楽スタジオのCD録音制作技法の習得を目的とした研修講座を開催した（6日間）。

【実績】受講者数10名（定員10名）

### エ バックステージ・ツアー

平成16年2月、通常ではあまり見られない「ちえりあホール」の舞台裏の見学や舞台設備の操作を親子で体験する機会を提供した（1日間）。

【実績】参加者数5組10名（定員18組36名）

**(3) 視聴覚学習機会提供事業**

**16ミリ映写機操作技術講習会**

年4回（平成15年4月、7月、11月、平成16年3月）、学習活動や地域活動において16ミリ映画を利用し学習効果を高めてもらうことを目的として、16ミリ映写機操作技術講習会を市民対象に開催した（各回1日間）。

【実績】受講者数62名（定員各回20名）

**(4) 青少年科学館学習機会提供事業**

**ア 宇宙セミナー**

平成16年2月に、宇宙科学に携わる研究者を迎え、市民を対象に講演会を開催した。

【実績】85名（定員240名）

**イ 星空の歩き方**

青少年科学館の天体観測機器やプラネタリウムを活用しながら、宇宙・天文についての知識を深めるための講座（年3期各6回）を開催した。

【実績】1期30名（延べ120名）

2期36名（延べ159名）

3期32名（延べ129名）

**(5) 共催事業**

**ア ジュニア・ウィークエンドセミナー（共催：札幌市教育委員会）**

平成14年4月からの完全学校週5日制に併せ、週末の土曜日を親子で有意義に過ごす学習機会として、小学校高学年及び中学生を対象に施設機能を活かした講座を実施した。

**(7) 札幌市生涯学習センター**

生涯学習センターでは、「親子クッキング教室」、「親子パソコン教室」と今年度新たに「親子で手作りおもちゃ教室」を加え、開催した。

【実績】親子クッキング教室 年10回160名（定員各回24名）

親子パソコン教室 年10回200名（定員各回30名）

親子で手作りおもちゃ教室 年8回58名（定員各回20名）

**(4) 札幌市青少年科学館**

青少年科学館では、「気象観測と天気」「電流の流れとはたらき」等の教室（8回）と天体観望会（2回）を開催した。

【実績】参加者数205名（年10回実施）

**イ 実年ピアノ教室（共催：（社）全日本ピアノ指導者協会北海道支部）**

生涯学習センターの音楽スタジオを活用し、ピアノ演奏を学ぶとともに、音楽を通じた仲間づくりのきっかけとして実施した。

【実績】火曜日コース（2クラス） 受講者延べ410名

## 2 人材活用育成事業

（寄附行為第4条第2号に掲げる事業）

- （目的） 市内の関係機関及びサークル・団体との連携を図りながら、学習活動を通じた市民活動及びまちづくり活動を担うことのできる人材を育成する。
- （効果） 学習活動を通して人材を育成し、その人材が活躍することにより、学習活動⇒学習成果の還元⇒さらなる学習活動、といった学習活動の質的・量的拡充が図られ、結果として、ボランティア等による市民活動及びまちづくり活動の活性化が図られた。

### （1）生涯学習ボランティア育成事業

市民の生涯学習を支える「ちえりあ学習ボランティア」に対して、定例会（毎月1回）等を通じ、講座企画や組織運営について助言や指導を行い、ボランティアとしての資質向上に努めた。

また、「さっぽろ市民カレッジ」における6講座をボランティア活動の実践の場として提供した。

平成15年12月に、施設設備の機材研修を実施し、平成16年3月には、講座企画に必要な知識を習得するための研修会を開催した。

【実績】登録者数41名／定例会参加者数延べ227名

（1）研修会参加者17名（12月） （2）研修会参加者20名（3月）

### （2）学習指導者育成事業

区民センターや地区センター等市民の生涯学習活動を支援する施設の職員を対象として、生涯学習に関する基礎的な理解を深めるとともに、事業企画・立案に必要な知識・技術を習得するための研修会を開催した。

【実績】参加者数46名（定員60名）

### 3 学習活動支援事業

(寄附行為第4条第3号に掲げる事業)

- (目的) 市内の関係機関及びサークル・団体との連携を図りながら、情報収集・提供をはじめとして、市民の自主的活動や連携・交流活動を支援する。
- (効果) 学習活動にこれまでかかわってこなかった市民に対しては、きっかけづくりを提供し、学習活動を行ってきた市民に対しては、これまでの学習成果を活かす場を提供することができ、生涯学習活動の底辺が広がった。

#### (1) 生涯学習普及啓発事業の実施

##### ア ちえりあフェスティバル

オープン3周年を迎えた平成15年8月、生涯学習のさらなる普及啓発を目的として、生涯学習総合センターを会場に開催した。北原照久（横浜ブリキおもちゃ博物館館長）講演会、さっぽろ市民カレッジ1日体験講座（ボランティア、バリアフリー、さっぽろふるさと学など）等を学習機会として提供したほか、市内で活動する各サークルの発表会等を学習成果の発表の場として実施した。

また、複合施設の特徴を活かし、青少年センター、教育センター及びリサイクルプラザと共に炊出車や食器洗浄車のデモンストレーションや東区のさっぽろラジオ村の公開生放送を行った。

【実績】参加者数10,342名〔内訳：講演会410名／こども映画会910名

市民カレッジ体験講座1,059名／サークル体験教室229名／サークル発表会等41団体3,150名／青少年センター関係3,508名／リサイクルプラザ関係795名／教育センター関係281名〕

##### イ 映画試写会

年6回（平成15年4月、6月、8月、10月、12月、平成16年2月）、視聴覚センター所有の16ミリフィルムを活用し開催した。

【実績】入場者数1,571名

##### ウ オペラシアター

年3回（平成15年5月、9月、12月）、生涯学習センターが保有する音楽資料等の利用促進を図るために、所蔵している映像資料（LD、DVD）を活用した、質の高いオペラ芸術の魅力を楽しむ場として実施した。

【実績】入場者数 4 6 3 名

(2) ボランティア活動・サークル活動促進事業

市民にとっての学習の場を広げるために、継続して学ぶことのできるサークル活動の育成を支援した。また、ちえりあを利用するサークル団体への問い合わせや学習相談への来館者用に、ポケット版「ちえりあサークルガイド」を作成し、市民へのPRに努めた。

【実績】2,000 部

(3) 共催事業

ア 人形劇フェスティバル（共催：札幌市青少年婦人活動協会，札幌人形劇協議会）

平成 16 年 2 月に，親子を対象とした，人形劇フェスティバルを開催した。

【実績】入場者数 1, 5 8 6 名

イ ふれあいコンサート（共催：(社)全日本ピアノ指導者協会北海道支部）

年 4 回（平成 15 年 5 月，10 月，11 月，平成 16 年 3 月），市民を対象としたピアノコンサートを開催した。

【実績】入場者数 1, 0 7 3 名

ウ 札幌市中学校校内放送コンテスト（共催：札幌市中学校放送教育研究会）

平成 15 年 7 月に，札幌市内の中学校の校内放送局員が制作した放送番組と各放送局で活動するアナウンサーの放送コンテストを開催した。

【実績】参加校数：11 校 60 名

エ 札幌市中学校校内放送技術講習会（共催：札幌市中学校放送教育研究会）

平成 15 年 8 月，平成 16 年 1 月の年 2 回，札幌市内にある中学校の校内放送局員の技術向上を図るために開催した。

【実績】参加校数：12 校 57 名

オ 札幌市中学校科学クラブ研究発表会（共催：札幌市中学校文化連盟）

平成 15 年 11 月に，市内中学校の科学クラブを対象に，視聴覚機器を利用した科学研究の活動発表会を開催した。

【実績】参加校数 15 校 135 名

カ 科学技術週間事業「科学映画会」（共催：日本科学技術振興事業団）

平成 15 年 5 月に，科学技術週間協賛事業として科学技術映像祭の入選作品を上映した。

【実績】入場者数 191 名

#### (4) 学習情報誌の発行

生涯学習関連施設及び団体が札幌市内及び近郊で実施している講座等の情報を一冊にまとめ、年3回（4月、8月、12月）発行した。

【実績】各回 8,000 部（年間 24,000 部）

## 4 調査研究事業

（寄附行為第4条第4号に掲げる事業）

（目的） 市民の学習ニーズに対応した生涯学習事業のあり方について調査研究する。

（効果） 財団が有する専門性を駆使しながら行った調査研究を、財団実施事業の内容改善に活かすことにより、事業参加者の拡大につながった。

#### (1) 生涯学習に係る調査研究

生涯学習センターの今後の事業展開や事業運営に関するアンケート調査を過去のカレッジ受講者を対象に調査研究を実施した。

## 5 さっぽろ市民カレッジ（受託事業）

（寄附行為第4条第5号に掲げる事業）

#### (1) さっぽろ市民カレッジ（市民活動系、産業・ビジネス系）

札幌市からの委託により、年3期（平成15年5～8月、9～12月、平成16年1～3月）、市民を対象に、リカレント教育を中心とした段階的・継続的な学習機会の提供を目的とする講座を開催した。

大学高等教育機関と連携を図りながら実施したほか、身近にまちづくりを考える講座など、札幌市の関係部局と連携した講座も実施した。

【実績】31講座（定員715名）

受講者数545名／修了者数440名

## 6 生涯学習関連施設の管理運営（受託事業）

（寄附行為第4条第6号に掲げる事業）

### (1) 札幌市青少年科学館の管理運営

札幌市からの委託により、科学技術に関する学習機会や体験機会の提供を目的として、札幌市青少年科学館の管理運営を行った。

（展示事業の管理運営，プラネタリウムの管理運営，企画特別展の開催，常設イベントや体験イベントの開催）

#### ア 展示事業の運営

##### (7) 常設展示

展示物を「見て」，「触れて」，現象を「考えてみる」ことができるよう，〈宇宙〉〈北方圏〉〈原理・応用〉〈マルチメディア〉のテーマを主とし，より強い印象として残り，理解しやすい展示物の整備を行った。

##### (イ) 展示・実験等

来館者が科学や科学技術について理解を深められるよう，サイエンスショーやテレビスタジオなど，解説を交えながらの参加形式による実演等を行った。

また，来館者が多い日曜・祝日に，科学に親しみやすい実験や工作会を行った。

サイエンスショー	化学・物理系実験を解説員が実演し，科学の不思議さや楽しさを伝え，科学への関心を高めるため，延べ666回実施した。 【実績】観覧者数9,966名 題材：4月～6月 「化学反応の魅力を楽しむ」 7月～10月 「面白い音の科学」 11月～2月 「空気の秘密を探る」 3月 「科学の箱舟で光を見つけよう」
ちょびっとサイエンス	解説員とのコミュニケーションの中で，科学への関心を高めるため，簡単な物理，科学の楽しさを伝えた。



<p>実演展示 (テレビスタジオ, 人工降雪装置, 低温展示室)</p>	<p>装置の動きや模型展示の仕組みでは伝わりにくい科学現象を, 実演や解説により紹介した。</p>
<p>日曜実験室</p>	<p>実験を体験することによって, 子供たちの「科学する心」を養うため, 延べ63回実施した。 【実績】参加者数694名 テーマ: 4月~5月「水溶液の性質を調べよう」 6月~9月「植物のようすについて調べよう」 10月~1月「でんぷんの変身を調べよう」 2月~3月「身近なもので電池をつくろう」</p>
<p>日曜工作室</p>	<p>工作を通して科学的動作原理, 材料の利用, 道具の正しい使い方等の習得と興味を喚起するため, 述べ56回実施した。 【実績】651名 4月~7月「マールまんげきょう」 「ホログラム万華鏡」 8月~12月「カタカタレース」「楽しい模様描き」 1月~3月「プロペラペットカー」 「スーパーボールビリヤード」</p>
<p>気象講座</p>	<p>気象学の啓発を図るため, 平成15年7月に日本気象学会北海道支部との共催により, 身近な気象現象や話題性のあるテーマについて, 専門の講師が最新の研究・情報をわかりやすく紹介した。 【実績】受講者数39名 テーマ: ①気象学がつくる理科実験 ②宇宙天気とは何か ③地球温暖化: 大気と海の二酸化炭素 ④観測から予報まで-TVに出ない天気予報-</p>
<p>親と子の科学教室</p>	<p>平成15年11月に, 親子のコミュニケーションとマルチメディアや実験を通して科学への興味・創造力の向上を目的とした教室を開催した。 【実績】15組</p>

## イ 天文事業の運営

身近なところで天文に親しむ「場」を設定し, 天文に関する基礎知識から最新の情報までを提供するとともに, 市民の天文に対する興味・関心を高めるため, プラネタリウムや移動天文車等を活用しながら各種天文事業を実施した。

また, 平成15年3月末にリニューアルした移動天文車においては, 天体観望事業や天体資料収集においてその機能を大いに活用した。

## (7) プラネタリウム投影事業

一般投影	<p>天候や時間に関係なく星空を投影できるプラネタリウムを使って、星や星座を知る機会、天文学の初歩から最新情報までを学習する機会を提供した。</p> <p>【実績】観覧者数 99,607名 / 投影回数 1,423回</p>
学習投影	<p>小中学校を対象に、理科授業の一環として実施した。学校の授業では理解することの難しい天体の動き、街中では見ることのできない満天の星空を疑似体験することで、天文への興味関心を喚起した。</p> <p>【実績】観覧者数 市内小学校 223校 / 16,052名 市内中学校 10校 / 493名</p>
夜間特別投影	<p>季節あるいは新しい天文的話題をテーマとし、通常よりも掘り下げた内容の投影を行うとともに、通常の投影時間では鑑賞できない人びとへの機会の提供のため12回実施した。</p> <p>【実績】観覧者数 1,841名 / 投影回数 12回</p>

## (4) 天体観望事業

天体観望会	<p>プラネタリウム夜間特別投影に併せて、一般市民を対象に科学館駐車場において移動天文車を使った観望会を行った。</p> <p>【実績】来場者数 6,752名 / 実施回数 6回</p>
火星観望会	<p>平成15年8月に、移動天文車を使って、地球に大接近した火星の観望会を行った。</p> <p>【実績】来場者数 5,000名 / 実施回数 1回</p>
移動天文台	<p>天文台を利用する機会の少ない市民に、自分達の住む地域で気軽に天体観望する機会を提供するため、移動天文車により各地へ出向き、天体観望を行った。</p> <p>【実績】参加者数 4,397名 / 実施回数 30回</p>
札幌市天文台夜間公開	<p>多くの市民に天体観望の機会を提供し、天文に対する興味・関心を高め、科学への夢を育むため、夜間の公開を行った。</p> <p>【実績】利用者数 3,700名 / 実施回数 24回</p>
西岡天文台夜間公開	<p>市民の天文に対する興味・関心を高めるため、一般公開することを条件に市民から寄付された西岡天文台において夜間公開を実施した。</p> <p>【実績】利用者数 266名 / 実施回数 4回</p>
さっぽろ星まつり	<p>札幌市公園緑化協会との共催で公園利用事業の一つとして天体観望事業を実施し、市民の天文に対する興味・関心を深めるため、平成15年8月に2日間実施した。</p> <p>【実績】入場者数 7,000名</p>

(ウ) 「宇宙の日」関連事業

作文・絵画コンテスト	「宇宙の日（9月12日）」を記念して、日本宇宙フォーラムとの共催により市内小中学生から宇宙に関する作文・絵画を募集し、展示・表彰した。 【応募数】作文 小学生93名,中学生64名 絵画 小学生459名,中学生32名
------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(エ) 教室・講座

天文教室	天体に接する機会の少ない市民に、天文の基礎的な学習機会と実際の星空を観望する機会を提供し、天文学に対する興味・関心を高めるため、7回実施した。 ①中高齢者のための天文教室（2日で1コース） 【実績】参加者数 1回目（平成15年6月）延べ87名 2回目（平成15年10月）延べ70名 ②親と子の天体教室（1日で1コース） 「手作り天文望遠鏡で星を見よう」 【実績】参加者数 1回目40組 90名 2回目39組 85名 3回目42組 95名 （各回とも平成15年8月実施）
コスミックカレッジ	日本宇宙少年団からの共催依頼を受け、宇宙や宇宙開発に興味を持つ青少年に対する教育活動として、小中学生を対象とした基礎コースを実施した。 【実績】受講者数55名（定員50名）

(オ) 天文相談コーナー（星のへや）

代表的な天体望遠鏡や参考図書などを常備した天文相談コーナーを設け、天文に興味を持った人の初歩的な疑問に答えた。

【実績】開放日数143日／利用者数2,776名／相談者数215名

(カ) 天文指導員研修

社会教育の一環として地域における天文普及活動を担う人材を育成するため、市内在住の大学・短大生を対象に、天文事業への参加や定期研修の実施により天文指導員を養成した。

【実績】登録者数47名／研修回数15回

## ウ 特別展の開催

小中学校の夏休みや冬休みの期間に合わせて、特別展を開催した。

夏の特別展「大恐竜展～恐竜ものしり博士になろう」	
趣旨及び概要	恐竜の誕生から、進化と絶滅を繰り返しながら新たな環境へ挑戦した恐竜を科学的視野からわかりやすく展示展開し、新しい視点での恐竜観察、映像による恐竜の生態、生きた世界などを上映し、古代への好奇心を刺激することを目的に開催した。
実施期間	7月26日～8月17日（23日間）
展示構成	恐竜の誕生（パネル展示）恐竜の発掘体験コーナー、ディプロドクス（全身27m）の全身骨格の展示、映画上映
入館者数	85,316名
冬の特別展「アイデアいっぱい！つくってあそぶ！科学工作大集合」	
趣旨及び概要	子供向けの工作会を開催した。
実施期間	1月5日～1月18日（14日間）
展示構成	工作コーナー、遊ぶコーナー、ふれあいコーナー（折り紙、ふれあい工作、ふれあい実験）
入館者数	18,387名
春の特別展「光の不思議な世界」	
趣旨及び概要	光をテーマとして、光によって起る様々な現象を展示物・実験・立体映画・工作を通し、光の不思議な世界を体験していただいた。
実施期間	3月27日～4月5日（10日間）
展示構成	ホログラム、イリュージョン、光の実験コーナー、工作コーナー、立体映画等
入館者数	28,893名

### (2) 札幌市生涯学習センターの管理運営

札幌市からの委託により、市民の生涯学習に関わる活動を支援することを目的とした札幌市生涯学習センターの管理運営を行った。

（ホール、各種研修室等の貸室事業、メディアプラザの運営等）

【実績】貸室利用者数370,139名／利用率74.6%

メディアプラザ利用者数53,246名

ちえりあニュースペーパー年6回（5月から隔月／各5,000部）発行

### (3) 視聴覚センターの管理運営

札幌市からの委託により、視聴覚教育の推進、市民や学校への学習支援を行うことを目的とした視聴覚センターの管理運営を行った。

#### ア 視聴覚教材の貸出

市内の小中学校をはじめ、幼稚園や児童会館、町内会やサークル等の団体に対し、学習活動に役立つ視聴覚教材（ビデオ、フィルム）を貸し出すとともに、新規に制作・購入するなど教材の充実を図った。

【実績】教材貸出数 11,178 本

新規制作・購入教材数 335 本（うちフィルム 16 本）

現有教材数 8,715 本（うちフィルム 3,237 本）

#### イ 日本映画名作祭

東京国立近代美術館フィルムセンターから、同センターが保有する貴重な日本映画フィルムの提供を受けて実施した。10月29日～10月31日の3日間に渡り、現在では劇場公開されることの少ない日本映画の名作4作品（「野菊の如き君なりき」「女の園」「天国と地獄」「生きる」）を、札幌映画サークルと協力・連携して上映した。

【実績】入場者数 1,103 名

## 7 収益事業

（寄附行為第4条第7号に掲げる事業）

### （1）売店・自動販売機事業（札幌市青少年科学館）

札幌市青少年科学館の管理運営に附帯する事業として、来館者への便益提供を目的とした売店・自動販売機事業を行った。

### （2）レストラン・自動販売機事業（札幌市生涯学習センター）

札幌市生涯学習センターの管理運営に附帯する事業として、来館者への便益提供を目的としたレストラン・自動販売機事業を行った。